

# 1 モデル自治体でのトライアル実施支援

## (1) 基本方針

令和7年度のトライアル支援においては、「バックヤード改革」をメインテーマとしていたところ、各モデル自治体へのヒアリングの結果、課題や業務改革の進捗状況が自治体ごとに異なっていたことから、支援の類型を以下の3つに分類し、各自治体の実情に応じた個別支援を実施することとした。

- ① バックヤード改革支援 … 自治体のバックヤード業務（自治体内部の事務）に関する改革を支援するもの。
- ② フロントヤード改革支援 … 自治体の窓口業務に関する改革を支援するもの。
- ③ 個別業務改革支援 … 自治体が希望する個別の業務に関する改革を支援するもの。

## (2) モデル自治体

青森県において、以下の5自治体をモデル自治体として選定。

- |     |   |                        |
|-----|---|------------------------|
| ・ A | } | ① バックヤード改革支援団体         |
| ・ B |   |                        |
| ・ C | } | ② フロントヤード改革支援団体        |
| ・ D |   |                        |
| ・ E | } | ③ 個別業務改革支援団体（テーマ：電子決裁） |

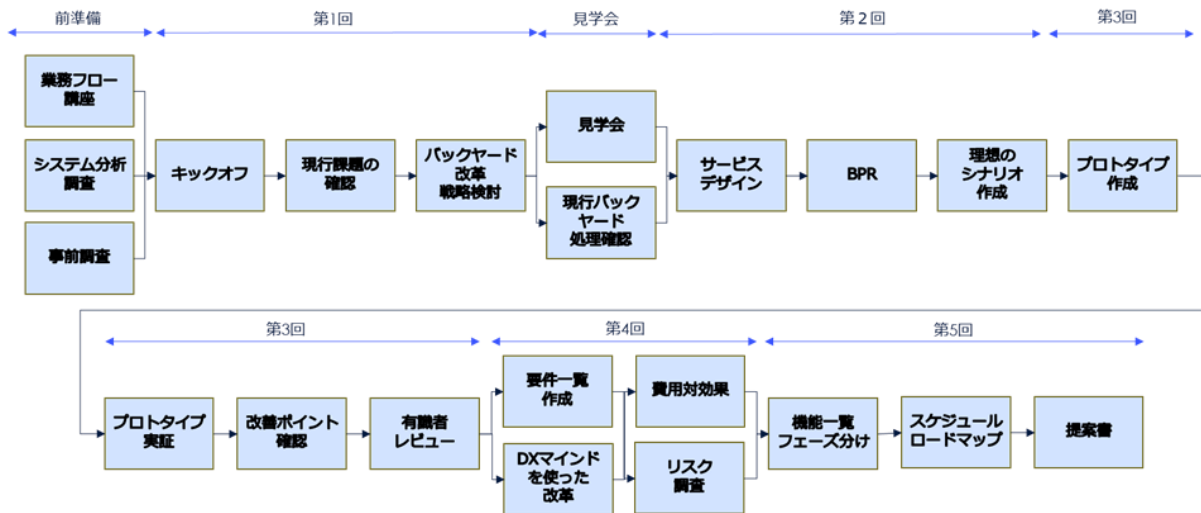
## (3) ワークショップ等の実施方法

- 事前確認
  - モデル自治体へ状況確認のヒアリングシートを配布し、回答内容を確認。
  - ヒアリングシートを元に、各自治体においてヒアリングを実施。
- キックオフまでの流れ
  - 上記ヒアリングの際に、今後のワークショップ実施にあたり、必要な関連部門との事前調整を依頼。
  - キックオフは、担当部門のほか、協力依頼が必要な関連部門合同で実施する。

#### (4) 実施内容

##### ① バックヤード改革支援団体 (A、B)

(取組フローのイメージ (共通))



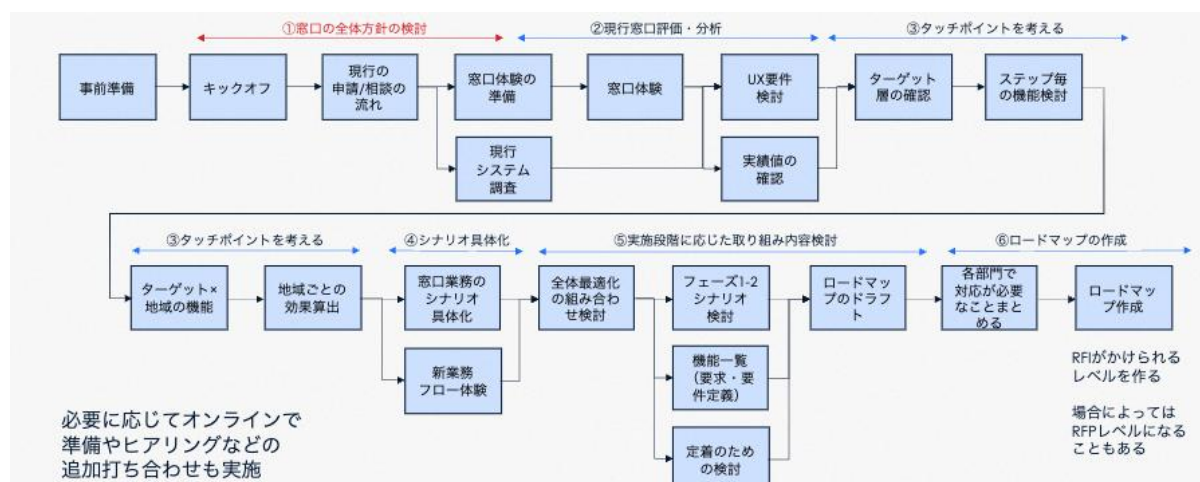
#### 【A】

- ヒアリング 6月12日
- 業務フロー研修 7月4日
- 第1回 7月24日
  - キックオフ
  - 現行課題の確認
  - バックヤード改革戦略検討
- 第2回 10月3日
  - サービスデザイン
  - BPR
  - 理想のシナリオ作成
  - (宿題) プロトタイプ作成
- 第3回 11月11日
  - プロトタイプ実証
  - 改善ポイント確認
- 第4回 12月16日
  - 要件一覧作成
  - DXマインドを使った改革
  - リスク調査
  - (宿題) 費用対効果の算出
- 第5回 1月20日
  - 機能一覧フェーズ分け
  - ロードマップ作成
  - 提案書の作成
- 首長報告会 2月2日



## ② フロントヤード改革支援団体（C、D）

（取組フローのイメージ（共通））



### 【C】

- ヒアリング 6月10日
- 第1回 7月1日 キックオフ  
現行の申請・相談の流れ  
(宿題) 窓口体験会の準備、現行システム調査
- 業務フロー研修 7月24日
- 第2回 8月27日 窓口体験  
UX要件検討  
実績値の確認
- 第3回 10月2日 ターゲット層の確認  
ステップごとの機能検討  
ターゲットと地域の機能  
地域ごとの効果算出
- 第4回 11月11日 窓口業務のシナリオ具体化  
新業務フロー体験
- 第5回 12月16日 全体最適化の組み合わせ検討  
フェーズ1-2シナリオ検討  
定着のための検討  
(宿題) 機能一覧、ロードマップのドラフト作成
- 第6回 1月20日 各部門で対応が必要なことをまとめる  
ロードマップ作成
- 首長報告会 2月3日

## 【D】

- ヒアリング 6月11日
- 第1回 6月30日 キックオフ  
現行の申請・相談の流れ  
(宿題) 窓口体験会の準備、現行システム調査
- 業務フロー研修 7月22日
- 第2回 8月26日 窓口体験  
UX要件検討  
実績値の確認
- 第3回 9月25日 ターゲット層の確認  
ステップごとの機能検討  
ターゲットと地域の機能  
地域ごとの効果算出
- 第4回 11月10日 窓口業務のシナリオ具体化  
新業務フロー体験
- 第5回 12月15日 全体最適化の組合せ検討  
フェーズ1-2シナリオ検討  
定着のための検討  
(宿題) 機能一覧、ロードマップのドラフト作成
- 第6回 1月19日 各部門で対応が必要なことをまとめる  
ロードマップ作成
- 首長報告会 2月4日



## 2 市町村のニーズに応じた分科会等の実施

### (1) 分科会の実施

市町村が抱える共通課題について、デジタルツール等を活用し、解決方策等について理解を深めるもの。

令和7年度は、市町村においてニーズの高い生成AIを利用した、業務効率化ツール「Dify」をテーマとして取り扱うこととした。

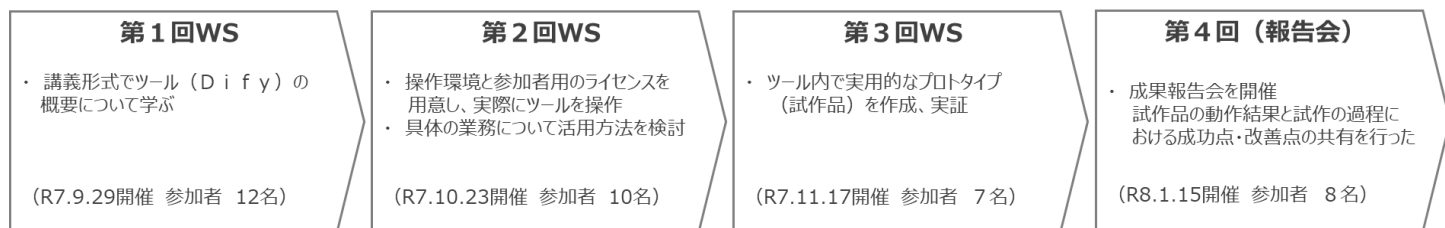
【テーマ】 AI エージェント

【参加者】 13自治体 18名

【実施方法】 全4回を対面で実施

#### 【実施内容】

- ・ 全市町村職員（担当業務・職位等問わず）を対象に、年4回実施（延べ37名が参加）。
- ・ AIエージェントの1つである「Dify」の操作環境を構築し、ワークショップの中で実際にアプリを作成。
- ・ 最終回では成果報告会を実施し、知見を共有。



### (2) 人材育成研修

合宿型の研修を実施し、DXの基礎知識に加え、実際に業務改革を行う場合の手順や手法を集中的に習得するもの。

#### 【実施日程及び参加者】

- 第1期  
日 時：6月23日～24日（1泊2日）  
参加者：23自治体、23名
- 第2期  
日 時：10月20日～22日（2泊3日）  
参加者：11自治体、11名

## 【実施内容】

- ・ 全市町村職員（担当業務・職位等問わず）を対象に、年2回実施（計34名が参加）
- ・ 初日の前半は、講義形式で自治体DXの基礎知識について学び、その後、入札参加資格や住民からの個別相談対応等、実務で想定される業務を例題として、DX化・業務効率化の手法をワークショップ形式で検討。
- ・ 研修の最終日には成果報告会を実施し、参加者間での気づきや改善案の共有を行った。

### （カリキュラム）

- 1日目 現行アセスメント、課題とニーズの把握し改革のスタート位置に立つ
- 2日目 新業務の検討を繰り返し、できるDXに変化させていく
- 3日目 DXマインドを取り込み、最終的な施策を具体化する